

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 若槻 真治	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	芸術文化センター事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	文化芸術に対する県民の関心が高まる。	
事業概要	多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	芸術文化センターの入館者	目標値		300,000	300,000	300,000
		実績値	306,280	349,538	349,539	379,330			
		達成率		116.50	116.50	126.50			%
	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	421,073	494,676
うち一般財源(千円)	214,018	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成17年の開館以来、美術と劇場の複合施設として、美術・音楽・舞台芸術など多様な文化芸術の鑑賞と創造の機会を提供してきた。指定管理者制度を導入し、指定管理者とともに魅力的な企画や広報、利用促進に努めている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

開館以来2番目に多いセンター入館者（379,330人）を達成した。
2年越しで取り組まれた石見地域発となるオリジナルグランドオペラ【石見発創作オペラ「ヒト・マル」】を上演。多くの県域住民やボランティアスタッフが関わり、石見地域の文化の発信に貢献した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

修繕箇所が少しずつ増え、修繕規模も大きくなってきている。

②困っている状況が発生している「原因」

開館から9年が経過している。

③原因を解消するための「課題」

予算の確保

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県と指定管理者で連携・調整しながら、中長期的な修繕計画による予算の確保に努める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）